



平成22年(2010年)  
1/1  
第1210号

発行：小平市  
編集：企画政策部  
秘書広報課  
〒187-8701  
小平市小川町二丁目  
1333番地  
☎042(341)  
1211(代表)

# 市報 こだいら



◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール [info@city.kodaira.lg.jp](mailto:info@city.kodaira.lg.jp)



あけましておめでとう (花小金井南児童館にて)



新年明けましておめでと  
うございます。年頭にあたり、小平市議会を代表いたしまして皆様にごあいさつを申し上げます。  
このお正月、皆様はどのように新年を迎えられたでしょうか。おそらく、今年こそはという新しい決意と希望を持って新年を迎えられたことと思います。  
我が国の経済情勢は依然として不透明で、いまだ景気低迷が続く、市民生活へも深刻な影響を与えております。  
また、昨年5月に国内初の新型インフルエンザ感染者が確認されて以降、感染者数は増加を続け、小・中学校では学級閉鎖が相次ぐなど、健康への不安も広がっております。

## 年頭にあたり



一方、昨年は野球のワールド・ベースボール・クラシックで日本が2連覇を果たしました。小平市においても大沼町に練習グラウンドのあるFC東京がナビスコカップ優勝、全日本吹奏楽コンクールで小平第三中学校と小平第六中学校がともに金賞を受賞するなど、喜ばしい出来事もありました。  
国におきましては、政権が交代し、さまざまな分野



小平市議会議長  
永田 政弘

及ぶ用水路があります。これらの特徴を生かしながら次世代に向けたグランドデザインを描かなければなりません。また、広域的な視点からの計画道路や品質の高いまちづくりのための幹



小平市長  
小林 正則

線道路の整備、小川駅・小平駅前の再開発は欠かせません。  
これらの基盤の上に立ち、中身をどれだけ豊富にできるかが市民参画であり、私なりの言い方をす

大きな変化が見込まれます。市民の皆様におかれましても、社会の変化に的確に対応した新たな施策の実現を期待し、大きな希望を抱かれています。市議会として、市民の皆様の一歩を市政に適切に反映させ、その期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。  
また、市議会が市民の皆様によりいっそう身近なものとなるように運営してまいりますので、ぜひとも多くの方に傍聴においていただきたく願っております。  
結び、本年の皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心からお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年明けましておめでと  
うございます。  
昨年は、未曾有の経済不況の中、我慢強く市政を支えていただき、本当にありがとうございました。朝の来ない夜はないの格言のごとく、必ずや今年も明るい年になるものと確信しております。  
小平市は玉川上水の通水によって開拓され、戦後の急激な人口の流入によってきた歴史には新しいまちです。今日では、都市としての基盤整備はおおむね完成し、2年後には市制施行50周年を迎えます。市内に7つ、市境に3つの駅を有する利便なまちであり、全域全体が平坦で良好な緑地空間も多く残り、玉川上水、野火止用水、50\*にも

れば、メニューは行政サイド、味付けは市民が中心となることとなります。  
都市近郊住宅都市として利便性と環境に優れた活力あるまちを目標とし、市制施行50周年を境に再び成長への力強いスタートを切りたいと考えております。  
昨年、市民活動支援センターの祭りに参加し、そのエネルギーに感動いたしました。このエネルギーが必ずや市を活力あるものに変えたと確信しています。今年も市民の皆様と協働し、市の発展のために全力で頑張る所存でございます。  
本年が皆様にとりましてすばらしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。